

近況のご報告

学校法人五島育英会

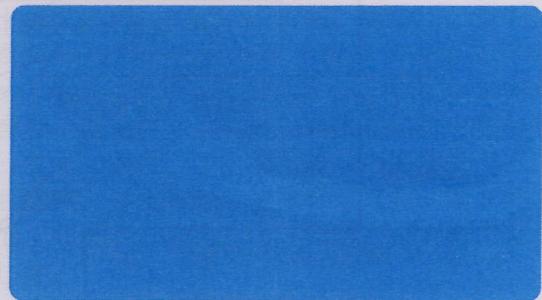
学校法人五島育英会

〒103-8501 東京都中央区新富町一丁目1番1号

TEL: 03-5561-3111 FAX: 03-5561-3112

http://www.tcu.ac.jp

〒103-8501 東京都中央区新富町一丁目1番1号



CITY  
UNIV.

# 東京都市大学

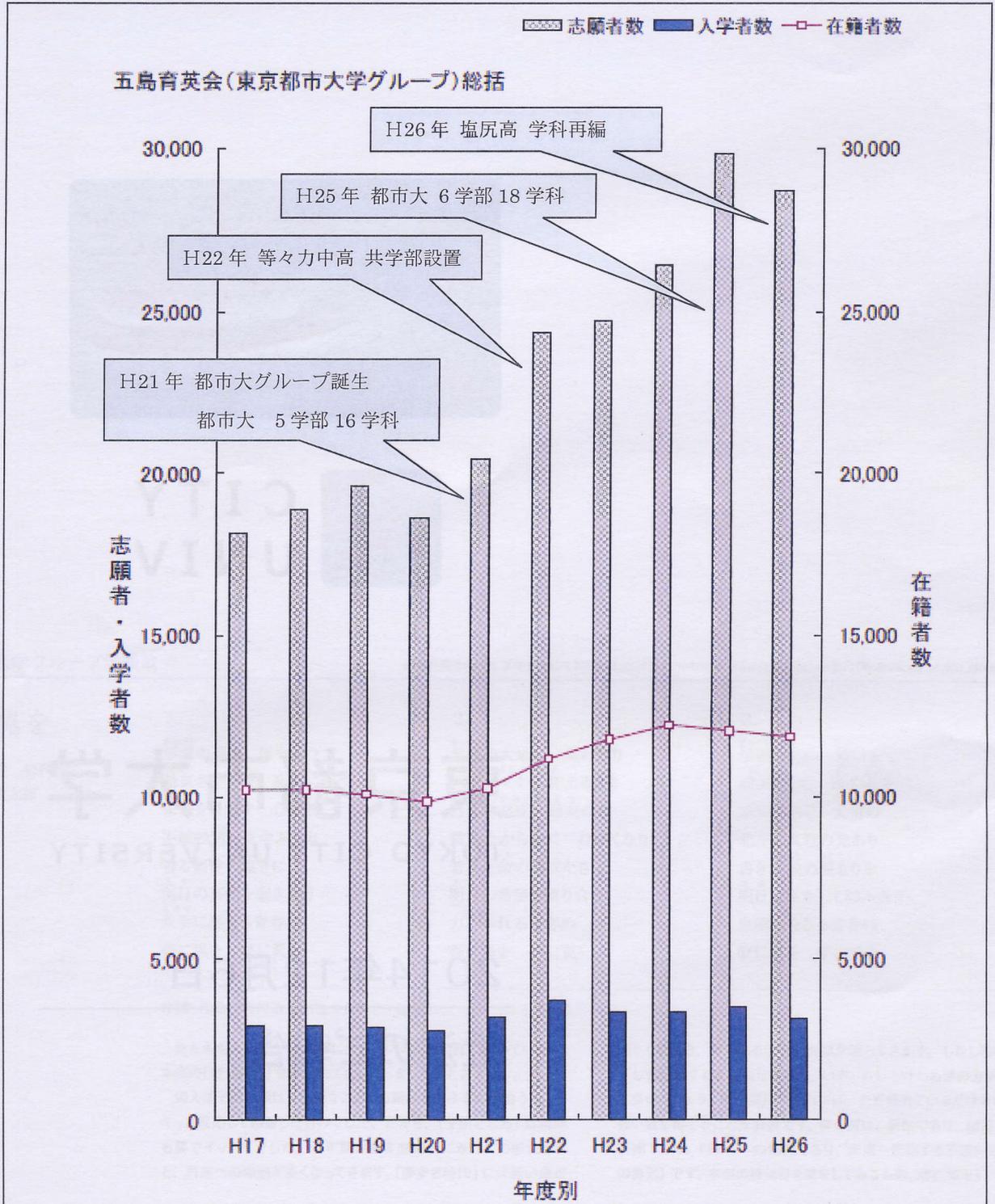
TOKYO CITY UNIVERSITY

2014年12月6日

近況のご報告

学校法人 五島育英会

< 志願者数・入学者数・在籍生徒数等の推移 >



五島育英会総括

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
志願者数	18,147	18,861	19,634	18,648	20,427	24,335	24,716	26,418	29,839	28,719
入学者数	2,920	2,956	2,862	2,805	3,225	3,694	3,346	3,357	3,501	3,164
在籍者数	10,248	10,245	10,090	9,871	10,276	11,189	11,788	12,241	12,063	11,873

※志願者数・入学者数に、H17まで東横学園大倉山高等学校、H20まで東横学園女子短期大学・東急自動車整備専門学校を含む。

※在籍者数に、H19まで東横学園大倉山高等学校(H20.3閉校)、H21まで東横学園女子短期大学(H22廃止)・東急自動車整備専門学校(H22廃止)を含む。

—近況ご報告—

＜法人本部＞



五島慶太翁生誕130年記念誌「熱誠」(左)と「五島慶太伝」(右)

■五島慶太翁生誕130年記念誌を出版

4月18日、東京都市大学グループの祖・五島慶太翁生誕130年記念誌を出版したことを記念し、東京都市大学世田谷キャンパス五島記念館メモリアルホールで出版記念パーティーを開催。「熱誠」の発刊にあたりご寄稿いただいた亜細亜学園の上條清文理事長をはじめ、執筆に携わった関係者や各学校長らが参列し、“教育者・五島慶太翁”の功績談義に花を咲かせました。

また、同日、学生部主催「生誕記念イベント」が学も開催。学生らが学生旗等を携え、慶太翁の胸像の前で1年間の「安全」と「活躍」を祈願、宣言を行いました。

本法人では、創立者の功績を広く周知する活動を積極的に行うことにより、帰属意識、愛校心を涵養する取り組みを推進しています。



■「五島慶太先生を学ぶ会」を開催

5月28日、等々力中学校・高等学校において全校生徒約1000名を対象に「五島慶太先生を学ぶ会」が開催されました。また、10月15日には付属中学校・高等学校でも中学生約800名を対象に同企画が催されました。

当日は、國分榮専務理事が講演者として登壇し、五島慶太翁の教育者としての功績を中心に都市大グループの歴史や学ぶことの必要性を説きました。

■「としだいわいん」(ワイン) が誕生

「としだいわいん」の生産地である長野県小県郡青木村は、東京都市大学グループの祖・五島慶太翁の生誕の地です。

五島慶太翁生誕130年を記念して、青木村の「青」と都市大の「都」のロゴデザインをラベルにし、その繋がりを表現したワインが、サクラ咲く季節に誕生しました。



〈法人本部〉



現存する五島慶太翁生家外観(長野県小県郡青木村)

■五島慶太翁生家の実測、復元模型制作プロジェクト  
研究スタート—五島育英基金教育研究奨励採択事業—

東京都市大学工学部建築学科の勝又英明教授を中心とした研究チームの「五島慶太翁の生家の実測、復元模型制作プロジェクト」が、五島育英基金教育研究奨励として採択され、2014年6月から研究活動がスタートしています。

本法人の初代理事長である五島慶太翁の教育者としての業績を顕彰し、後世に伝える事業として、老朽化が進む長野県小県郡青木村に現存する歴史的意義の高い建築物“慶太翁の生家”を、現時点で実測の上、図面化し、その図面をもとに模型を制作するという研究教育プロジェクトです

「五島育英基金」

五島育英基金は、学校法人五島育英会の有為な人材育成及び教育の振興を目的として、五島慶太初代理事長を中心にその主旨に賛同して寄せられた寄付金等を基金に置き、1957年に発足。以降、当基金では奨学事業のほか、学生・生徒への顕彰や部活動の奨励等が行われています。



■職員海外研修、海外インターンシップ 奨学金事業

五島育英会では、「五島育英基金海外教育文化研修派遣」として、教職員の海外研修制度を設けています。

この制度は、五島育英会創立50周年の記念事業として実施されており、今年度で10年目を迎え、現在までに50名の教職員が研修を行っています。今年度は8名の派遣者が各自の教育テーマに基づき、研修目的、研修先を決め、アメリカ、オーストラリア、モンゴル、ベトナム、マレーシア、スウェーデン、ドイツ等へ飛び立ちました。

グローバル化が急速に進む中、都市大グループの教育目標にある「国際社会で活躍する有為な人材を育成するためにも教職員自らが世界に飛び出すことはとても重要なことであり、次年度もこの研修派遣が行われることが決定しております。

なお、東京都市大学の学生に対しては、海外の企業で就業体験を行うことで、より国際的視野の向上を推進すべく海外インターンシップ派遣のための支援を行っています。

## ＜東京都市大学＞



## ■東京都市大学アクションプラン 2030 を策定

— 創立 90 周年、100 周年に向けて —

1929年、「学びたい」という一心のもとに学生たち自らが中心となって創られた大学、それが本学の前身である武蔵高等工科学校です。独立自主の気概溢れる学生らが掲げた「公正・自由・自治」という建学精神は、80年以上の時を経てなお力強く継承され、現在に至っています。

2009年4月、東京都市大学へと名称変更し、幅広い研究領域を網羅する総合大学としての新たなスタートを切った本学は、2014年3月、さらなる進化を遂げるため中長期計画とその工程表である「東京都市大学アクションプラン 2030」を策定しました。

創立90周年（2019年）および100周年（2029年）への持続的発展を見据え、建学精神と教育理念の下、4つのプロジェクトを計画的に推進し、将来ビジョンを実現しながら社会に貢献してまいります。

**東京都市大学**  
**オーストラリアプログラム**  
TOKYO CITY UNIVERSITY AUSTRALIA PROGRAM (略称TAP)

自然あふれる  
多文化・多様な都市  
西オーストラリア州  
エディスコーワン大学

EDITH COWAN  
UNIVERSITY  
AUSTRALIA  
PROGRAM

EDITH COWAN  
UNIVERSITY

「東京都市大学オーストラリアプログラム」は、本学が推進する「先進都市グローバル人材育成プラン」の一環、100名以内のオーストラリア留学を支援し、国際的視野とグローバルスキルを身につけた、時代に即応した対応できる人材を育てます。

## ■2015 年度入学生から「東京都市大学オーストラリアプログラム (TAP)」をスタート

「東京都市大学オーストラリアプログラム(TAP)」は、本学が推進するグローバル人材育成プランの一つです。西オーストラリア州の国際都市パースにあるエディスコーワン大学にて、年間200名の学生が約5ヶ月間の留学を体験するプログラムです。（準備教育期間2年間）

グローバルに活躍する人材育成推進のため、当プログラムを経済的に支援する奨学金制度を新たに設け、年間約100名が参加費の全額免除または一部奨学金給付を実施します。



## ■先進の環境配慮型 新1号館が竣工

教育・研究にさらなる充実を図るため、キャンパスの再整備事業を推進しています。その一環として1月に新1号館が竣工しました。

この新1号館は、学生支援センター、キャリア支援センター、研究室、事務管理部門などに加え、大中小の教室49室を擁する複合施設で、延床面積約15,000㎡、地下1階、地上4階建てとなります。

4階北側には、学生、教職員のほかOB・OG、保護者等が利用可能なラウンジ「オーク」を開設。レセプションや発表会、パーティー会場としても活用できます。



＜東京都市大学＞



■連携協定（日本科学未来館、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会）

4月16日、東京都市大学と日本科学未来館が包括連携協定を締結。本学の学生や関係者に向けた調印記念式典が開催されました。

本協定は、相互の交流による両者の啓発と地域社会への貢献、一般を対象にした科学コミュニケーションの推進に資する活動を通じて、我が国における学術及び科学技術の発展に寄与することを目的とした交流事業を行うものです。

その他、6月23日には、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向け、同大会組織委員会と連携協定を締結しています。



■朝活応援！100円朝食をスタート

「朝活応援！」をキャッチフレーズに、7月14日～8月6日及び9月22日～1月30日の平日朝に、全3キャンパスのラウンジや学食において、在学生を対象に「100円朝食」を提供しています。

100円朝食メニューは、和食と洋食の日替わり定食で、1食あたり400円のメニューを本学と後援会および校友会が300円を補助することで実現しています。

(写真：TOKYO MX ニュース)



■環境学部主催「高校生環境活動グループ実践賞」コンテストを開催

環境学部が主催する「第2回 高校生環境活動グループ実践賞」コンテストの表彰式が、10月29日に横浜キャンパスで行われました。本コンテストは、環境問題が深刻化している今日において、将来を担う高校生が中心となりグループで実践的に取り組んでいる環境保全活動を表彰、支援する目的で2013年に開設されました。

式典は第16回ISO環境フォーラムのプログラムの中で行われ、200名以上の都市大生や教職員らが見守る中、最優秀賞の青森県立名久井農業高等学校ほか4校のグループが表彰されました。



■子育て支援センター「びっぴ」が開設10周年、利用者数23万人を突破！

等々力キャンパスに設置されている子育て支援センター「びっぴ」が、5月31日に利用者が230,000を超え、6月1日に10周年を迎えました。

子育て支援センター「びっぴ」は、2004年に地域の子育てを支援するためにキャンパス内に設置されました。子どもたちにとっては楽しい遊び場として、保護者にとっては子育てについて話し合えるコミュニケーションの場として広く地域の皆様に親しまれ、毎日100名前後の親子にご利用いただいています。

＜東京都市大学＞



(写真：信濃毎日新聞)

■東京都市大学シンポジウム in 上田を開催

4月27日、長野県上田市にある上田創造館において「東京都市大学シンポジウム in 上田 ー市民と夢を語り合うー」(主催：東京都市大学、信濃毎日新聞社)が開催されました。

本企画は、故・北澤宏一学長により具現化。五島育英会の初代理事長である五島慶太翁が上田市隣りの小県郡青木村出身であること等を背景に、市民の方々の教養を培うことを目的として、上田市出身で理化学研究所名誉研究員の丸山英一先生と2000年にノーベル化学賞を受賞された白川英樹先生を講師に迎えて行われました。



(故・北澤宏一学長)

北澤宏一学長 逝去

去る9月26日(金)午後1時24分、北澤宏一学長が急性肝不全のため、都内の病院にて逝去されました。享年71歳。通夜及び告別式はご遺族の意向により家族葬として執り行われました。

なお、11月17日に、東京都市大学と科学技術振興機構の共催により「お別れの会」がセルリアンタワー東急ホテルで開催され、1000を超える弔問者が参列。北澤学長を偲びました。ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

【略歴】

- 1966年 3月 東京大学理学部 卒業
- 1968年 3月 同 工学系大学院修士課程 修了
- 1972年 2月 アメリカ・マサチューセッツ工科大学博士課程 修了  
学位：Doctor of Science
- 1987年 7月 東京大学 教授
- 1991年 1月 同 低温センター センター長併任
- 2002年 5月 科学技術振興事業団 専務理事
- 2002年 紫綬褒章
- 2007年 10月 (独)科学技術振興機構 理事長
- 2011年 10月 同 顧問  
福島原発事故独立検証委員会(民間事故調)委員長
- 2013年 9月 東京都市大学 学長
- 2014年 11月 従四位 瑞宝中綬章

## <東京都市大付属中学校・高等学校>

TOKYO CITY UNIVERSITY JUNIOR AND SENIOR HIGH SCHOOL

今を生きる。 *It's now or never. It's my time!*

東京都市大 附属中学校・高等学校  
グローバル入試開始!

東京都市大学 付属中学校・高等学校  
TOKYO CITY UNIVERSITY JUNIOR AND SENIOR HIGH SCHOOL

SCHOOL GUIDE 2015

### ■Next Stage一次の舞台へー グローバル入試開始

4年連続で過去最高の大学合格実績を出し、中学志願者も4年連続して都内一位になりました。昨年度は中高一貫の第二期生が飛躍的な進学実績を遂げ、現高3生にもさらなる期待が寄せられます。

2014年度入学生から帰国生募集を開始、2015年度入学生よりグローバル入試がスタートします。

### ■大学合格実績 (2014年3月)

(国公立大)

東京、京都、北海道、東北、茨城、千葉、筑波、埼玉、東京外国語、東京工業、電気通信、一橋、横浜国立、山梨、富山、島根、九州、首都大東京、福島県立医科、都留文科、大阪府立、奈良県立 他

(私立大)

東京都市、早稲田、慶応義塾、上智、東京理科、国際基督教、明治、青山学院、立教、法政、中央、学習院、同志社、東京慈恵会医科(医)、北里(医)、日本(医歯)、帝京(医)、麻布、明治学院、芝浦工業 他

## <東京都市大等々力中学校・高等学校>

東京都市大学 等々力中学校・高等学校  
TOKYO CITY UNIVERSITY FUCHU JUNIOR AND SENIOR HIGH SCHOOL

2015年度学校案内

noblesse oblige

ノブレス・オブリージュ

高貴を若人が果たすべき責任と義務

### ■ノブレス・オブリージュとグローバルリーダー育成

2010年4月、ノブレス・オブリージュとグローバルリーダー育成を教育理念とする共学校として新しくスタートしました。さらなる改革を推進する本校は、2014年度入試より、様々な背景を持った者同士が刺激し合い、切磋琢磨することがグローバルリーダーの資質であるという考えに基づき、帰国生入試を導入しています。

### ■大学合格実績 (2014年3月)

(国公立大)

埼玉、茨城、電気通信、首都大東京、横浜市立、防衛大 (私立大)

東京都市、早稲田、慶応義塾、上智、東京理科、国際基督教、明治、青山学院、立教、法政、中央、学習院、同志社、立命館、成蹊、成城、明治学院、津田塾、聖心女子、東京女子、日本女子、フェリス女学院、東洋英和女学院、学習院女子、芝浦工業、東京電機、東京農業、昭和、星薬科、北里、東邦 他



<東京都市大学二子幼稚園>



■都市人間科学部の学生らが行事をサポート

東京都市大学二子幼稚園では幼大連携の取り組みを推進しています。その取り組みの一環として、東京都市大学人間科学部児童学科で学ぶ大学生をサポート者として招き、10月24日、都内の畑で「さつまいも掘り」を実施しました。

■小学校合格実績 (2014年3月)

(国立小)  
東京学芸大学附属世田谷、筑波大学附属  
(私立小)  
東京都市大付属、桐蔭学園、東洋英和女学院、聖心女子学院、洗足学園 他

<東急自動車学校>



(写真：読売新聞 2014.8.26 記事)

■都市大エコ1チャレンジカップ2014が開催

8月23日、東急自動車学校において、東京都市大学主催「都市大エコ1チャレンジカップ2014～中・高校生による手作り電気自動車コンテスト～」が開催されました。一昨年から本校を舞台としており、今大会は1都6県(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、長野)から、強豪16校18チームが参戦。東京都市大学附属中学校・高等学校の自動車部も出場しています。



■地元の警察署と協力し交通安全活動

東急自動車学校では地元の警察署と協力し、交通安全に関する活動を行っています。

・多摩中央警察署主催二輪車実技講習会 (4/9)

■入校生の推移 (2014年10月末現在)

年度	H23	H24	H25	H26
普通車	2,623	3,202	3,427	1,465
二輪車	1,721	1,886	1,860	1,062
大型・中型	901	976	1,134	648
合計	5,245	6,064	6,421	3,175

<学校間連携事業>



■都市大塩尻高 都市大教授陣を招き公開講座を開催

東京都市大学塩尻高等学校では、9月14日、10月4日の2回にわたり、都市大の教授を招いて「市民公開講座」を開催しました。

第1回目(9/14)は、環境学部の涌井史郎教授より、「木育時代」をテーマに、第2回目(10/4)は、名誉教授の佐々木進教授より、「宇宙開発にかける夢」をテーマに講演が行われました。

本公開講座は、大学の最先端研究・技術や社会貢献の取り組みを塩尻市および近隣の皆様に広く理解していただくことを目的に開催します。また、東京都市大学へ進学を希望する本校生への受講を促し、大学での研究や、学習への知的意欲向上を図ります。

- 付属進学制度 (高大連携)
- 単位認定制度 (高大連携)
- 教員情報交換制度 (高大連携)
- 学校間教員研修
- 部活動・生徒交流

## 〈部活動関連〉



### ■都市大 空手道部が全国空手道選手権大会 2 連覇

東京都市大学の空手道部が7月20日、21日に開催された第34回全国空手道選手権大会（主催：国際松涛館空手道連盟）に出場。一般団体組手の部において優勝し大会2連覇を達成しました。



### ■付属中高 自動車部が全国大会 2 連覇

東京都市大学附属中学校・高等学校の自動車部が、9月28日に開催された「本田宗一郎杯 Honda エコマイレージチャレンジ 2014 第34回全国大会」中学生クラスに出場。896.906km/lの好記録で優勝をおさめ大会2連覇を達成しました。

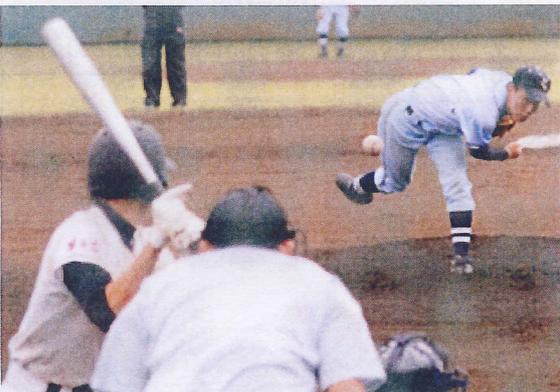
同大会の中学生クラスには全国から16校30チームが出場。規定の距離を走るのに要した燃料の量から算出された燃費を競い合いました。



### ■等々力中高 舞チア部が世界高校チアリーディング選手権出場へ！（2015年2月開催予定）

東京都市大学等々力中学校・高等学校の舞チア部が、2014年3月28日に開催された「USA School & College Nationals 2014 ファイナル」に出場。

その結果、2015年2月にアメリカ・フロリダで開催予定の世界高校チアリーディング選手権への出場権を獲得しました。舞チア部は平成26年度五島育英基金部活動奨励給費を授与しています。



### ■付属高×等々力高 野球部対抗戦は付属高が制す

10月1日、東京都市大学総合グラウンド野球場において、東京都市大学附属高等学校と東京都市大学等々力高等学校の硬式野球部による対抗戦が行われました。その結果、都市大付属高が都市大等々力高に5-0で勝利。勝利チームに理事長杯が授与されました。

同大会は、2011年11月に、総合グラウンドの開設記念として東京地区にある付属の二高等学校による硬式野球部対抗戦が行われたことに始まり、その後は毎年定期戦と位置づけ、東京都市大学グループのスポーツ活動の隆盛と学校間の連携強化を目的に実施されています。

<部活動関連>



【松商-都市大塩尻】優勝を決め、喜びを爆発させる都市大塩尻の選手たち

第67回全日本バレーボール高校選手権大会(春高バレー)県大会は2日、長野市のホワイトリングで男女の決勝があり、男子は創造学園が2年連続4回目、女子は都市大塩尻が4年連続4回目の優勝を決めた。中信勢が男女そろって優勝するのは2年連続となる。両校は来年1月に東京都で開かれる全国大会に出場する。

昨年と同一カードとなった男子決勝は創造学園が岡谷工を3-0のストレートで破って完勝した。第1セットの立ち上がりで4連続ポイントを奪うなど勢いに乗ると、第2、3

## 都市大女子がV

(写真：市民タイムス)



先制点を挙げて喜ぶ都市大塩尻イレブン

第93回全国高校サッカー選手権大会(長野大会)は31日、松本市の松本総合運動場アルウィンで決勝があり、都市大塩尻が上田西を3-1で破って3年ぶり3回目の優勝を飾った。都市大塩尻は立上りがからみ、試合を優勢に進めた。前半のうちにCKを獲得すると、M下西が頭でゴールを叩き、都市大塩尻は先制し、さらにサイドを基に点差を広げ、後半にはM下西が再びゴールを叩き、都市大塩尻は2-0でリードを築き、後半終了間際にM下西が再びゴールを叩き、都市大塩尻は3-0でリードを築き、試合終了までリードを保持し、3-1で優勝を飾った。

試合	上田西	都市大塩尻
スコア	1	3
得点者	M下西	M下西
GK	高橋	高橋

## 上田西を3-1で破る

## 都市大塩尻 3年ぶり優勝

(写真：市民タイムス)

### ■塩尻高 4連覇で春高出場を決めた女子バレー部 —全国大会初戦は1月5日、vs 高田学園—

東京都市大学塩尻高等学校 女子バレーボール部が、第67回全日本バレーボール高校選手権大会県大会において優勝を果たし、4年連続4回目の春高バレー(全国大会)出場を決めました。11月2日、長野市のホワイトリングで行われた準決勝では東海大三高校に2-0、決勝では松商学園高校に3-0でストレート勝ち。見事栄冠に輝きました。

4回目の優勝を決めた女子バレーボール部は、2015年1月5日から東京体育館(東京都渋谷区)で開幕する春の高校バレーで全国制覇を狙います。

#### (春高バレー2015 試合日程)

※会場：東京体育館

- 1/ 5 (月) 1回戦 vs 松山東雲
- 1/ 6 (火) 2回戦 vs 下北沢成徳 or 須磨ノ浦の勝者
- 1/ 7 (水) 3回戦 vs 九州文化学園 or 誠英 or 弘前学院聖愛の勝者

### ■塩尻高 全国高校サッカー選手権長野大会で優勝 —全国大会初戦は12月31日、vs 高川学園—

11月8日、東京都市大学塩尻高等学校サッカー部が、第93回全国高校サッカー選手権大会長野県大会決勝に出場し上田西高校と対戦。序盤から点を重ね3-1で3年ぶり3回目の優勝を飾りました。

サッカー部は、12月30日から開幕する全国大会に挑みます。

#### (高校サッカー選手権 試合日程)

※会場：三ッ沢球技場

- 12/31 (水) 1回戦 vs 高川学園
- 1/ 2 (金) 2回戦 vs 日大藤沢 or 徳島市立の勝者

<東京都市大学 2014年3月卒業予定者各学部進路決定状況>

2014年11月26日現在

学部	年度	卒業見込者数	就職希望者数	内定者数	内定率	進学希望者数	進学決定者数	その他人数	就職進学決定率
工学部	2014	665	426	383	89.9%	222	199	17	87.5%
	2013	695	433	372	85.9%	250	—	12	—
知識工学部	2014	248	179	150	83.8%	62	55	7	82.7%
	2013	259	180	154	85.6%	71	—	8	—
環境情報学部	2014	449	395	313	79.2%	20	13	34	72.6%
	2013	494	442	328	74.2%	21	—	31	—
都市生活学部	2014	165	155	140	90.3%	3	2	7	86.1%
	2013	180	167	143	85.6%	4	—	9	—
人間科学部	2014	114	104	71	68.3%	6	3	4	64.9%
	2013	97	94	59	62.8%	0	—	3	—
合計	2014	1641	1259	1057	84.0%	313	272	69	81.0%
	2013	1725	1316	1056	80.2%	346	—	63	—

研究科	年度	卒業見込者数	就職希望者数	内定者数	内定率	進学希望者数	進学決定者数	その他人数	就職進学決定率
大学院(工)	2014	248	238	219	92.0%	5	5	5	90.3%
	2013	305	291	265	91.1%	3	—	11	—
大学院(環境情報)	2014	26	22	17	77.2%	3	1	1	69.2%
	2013	23	21	15	71.4%	1	—	1	—
合計	2014	274	260	236	90.8%	8	6	6	88.3%
	2013	328	312	280	89.7%	4	—	12	—

<2017年度募集状況>

東京都市大学付属小学校

年度	募集人員	志願者数	入学手続者	備考
2017	80	348	83	(試験日) 11/3 又は 11/4
2016	80	400	80	
2015	80	348	80	

東京都市大学二子幼稚園

年度	募集人員	志願者数	入園手続者	備考
2017	70	121	72	(試験日) 11/1
2016	70	103	70	
2015	70	110	71	

＜2017年度学生・生徒等募集要項＞

学校名	入試形態	募集人員						出願期間	試験日	合格発表	手続期限	延納		
大学院	推薦[A日程] (修士)	(工学)	修士 261	博士 後期 36	計 297		5/5~9	5/21	5/23	6/20	(3/12)			
	一般[B日程] (修士・博士後期)						7/14~18	9/2~4	9/12	10/17				
	# [C日程] (修士・博士後期)						1/13~16	2/18~20	3/3	3/9				
	推薦[A日程] (修士)	(環境)	修士 20	博士 後期 2	計 22		5/7~14	5/17	6/6	6/20				
	一般[B日程] (修士・博士後期)						8/22~28	9/3	9/12	10/17				
	# [C日程] (修士・博士後期)						1/9~20	2/18	2/26	3/9				
推薦[A日程] (修士)	(都市)	修士 6	-	計 6		5/7~14	5/17	6/6	6/20					
一般[B日程] (修士)						8/22~28	9/3	9/12	10/17					
一般[C日程] (修士)						1/9~20	2/18	2/26	3/9					
大学	付属進学 (全学部)	工 知 環 メ 都 人 計 募集人員は高大連携委員会の受入人数の枠による						10/24	11/8	11/20	12/10	(国公)3/10		
	指定校推薦 (全学部)	98	30	30	31	31	20	240	10/24~30	11/9	11/20	12/10		
	公募制推薦 (知・環・メ・都・人)	-	17	9	10	12	14	62						
	センター利用 (全学部)	104	38	17	20	17	10	206	1/7~16	(1/17,18) ※本学独自試験は実施しない	(工・知)2/11 (環・メ・都・人)2/10			(国公)3/24
	全学統一	(工・知)	105	42	-	-	-	-	215	1/7~23(窓口1/24) (地方会場1/23迄)	2/1	2/11	①2/24 ②3/10	
		(環・メ・都・人)	-	-	18	20	20	10	2/10					
	一般(前期)	(工・知)3教科	235	90	-	-	-	-	522	2/2,3,4(学科別)	2/11	2/10		
		(環・メ・都・人)2教科	-	-	55	62	50	30	2/10					
	一般(後期) (全学部)2教科	59	25	13	14	8	5	124	1/7~2/21(窓口1/24) (地方会場1/23迄)	2/28	3/4	3/10		
	AO型 (全学部)	12	8	3	4	6	-	40	8/22~28	(1)書類審査 (2)10/11	10/18	12/10		
	AO社会人型 (全学部)	若干名						7	若干名	9/16~24	10/11	10/18		
	AO帰国生徒型 (全学部)	若干名						若干名	若干名					
	外国人留学生 (工・知・環・メ・都)	若干名	6	10	若干名	-	16	若干名	11/14~25	12/20	1/10	①2/24 ②3/10		
	合計	630	255	160	180	150	100	1,475						
編入学(公募) (全学部)2年次	若干名						-	9/30~10/6	11/8	11/20	12/10			
高等学	特別選抜コース	40						40 (内部進学除く)	1/25~2/10	2/12	2/12	2/17	公立合否の翌日12時迄	
	特別奨学生 方式I (集団面接試験)	普通科						計260	12/18~25	1/10(本校会場)	1/16	1/21(半願) 3/20(併願)		
	特別奨学生 方式II (学力試験)	[特別選抜類型]	[文理進学類型] (総合理系、スポーツ、 デザイン)						1/6~8	1/11(本校・長野・岡谷会場)				
	推薦	70	190					1/19~21	1/23	1/28	1/31			
	一般								2/18~20	2/24	3/4	3/7(半願) ①3/7(併願)	②3/20 (併願)	
中学校	帰国生入試	若干名						若干名	12/1~1/6	1/6	1/7			
	グローバル入試	若干名						若干名	1/20~2/1	2/2	2/2			
	第1回 (午後)	約120						約240	1/20~31	2/1	2/1	2/9		
	第2回 (午前)	約60							1/20~2/1	2/2	2/2			
	第3回 (午前)	約30							1/20~2/3	2/4	2/4			
	第4回 (午前)	約30							1/20~2/5	2/6	2/6			
	等々力	帰国生入試	第1回 (午前)	20				計200	12/1~10	12/13	12/15	12/16		
			第2回 (午前)						1/20~26	2/2	2/2			
		S特選コース	第1回 (午後)	40					1/20~31	2/1	2/1			
			第2回 (午後)						1/20~2/2	2/3	2/3			
		特別選抜・特別進学コース	第1回 (午前)						1/20~31	2/1	2/1	2/10		
			第2回 (午前)	140					1/20~2/1	2/2	2/2			
			第3回 (午後)						1/20~2/1	2/2	2/2			
			第4回 (午前)						1/20~2/4	2/5	2/5			
小学校	一般	計80(内部進学含む)							10/1~3	11/3又は11/4	11/5	11/6		
幼稚園	3歳児	計70							10/29	11/1	11/1	11/4		

＜注1＞各入試の手続①は1次手続、②は最終手続を表す。  
 ＜注2＞大学(大学院)の延納は、止むを得ぬ理由がある場合の最長手続期限を表す。  
 ＜注3＞付属中学校募集人員のうち、約80名はI類(最難関国立大コース)、約160名はII類(難関国立大コース)。  
 ＜注4＞幼児高校の二次募集は特別・推薦・一般試験の結果により、実施する場合がある。

